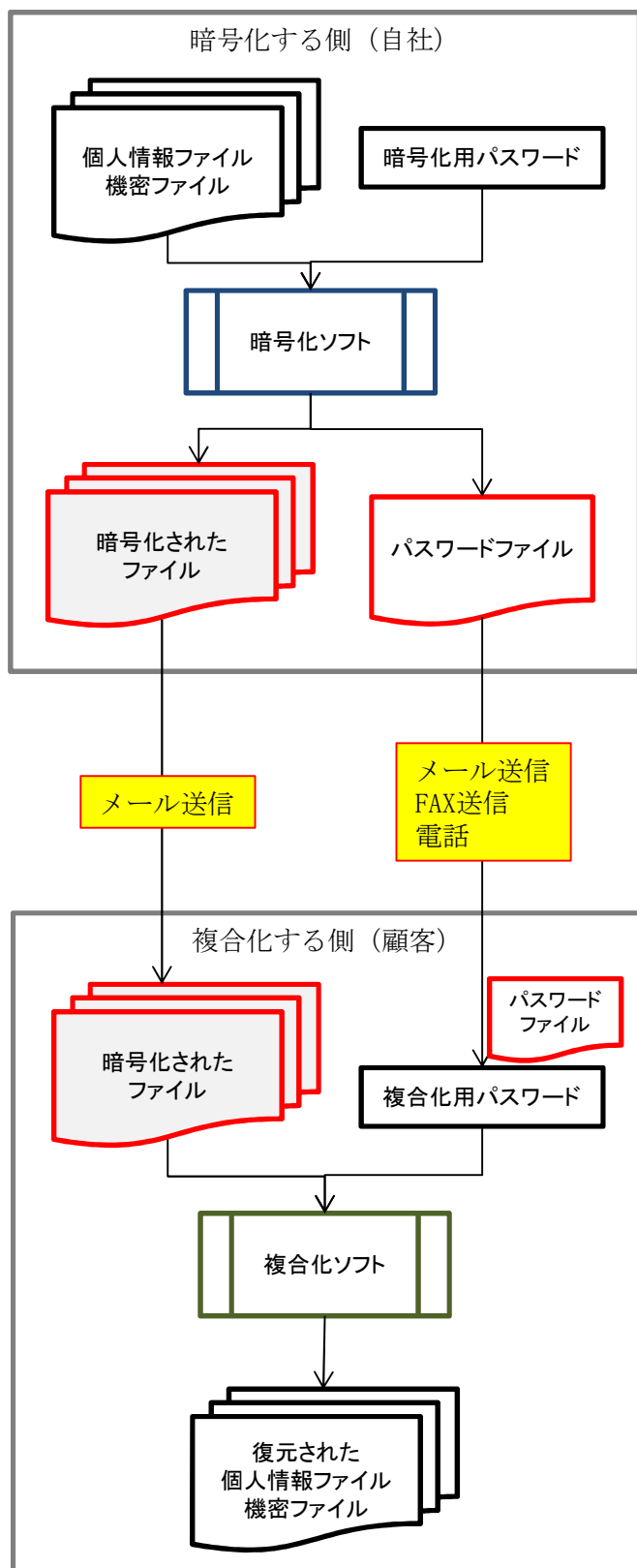


使い方の例

以下は、暗号化・複合化の使い方の例です。

(例) 個人情報、機密情報をメールで顧客会社へ送信します。



①機密情報、個人情報の含まれた文書ファイルを準備します。
暗号化パスワードは文書ごとではなくて、顧客ごとで用意します。

②用意したパスワードで、文書ファイルを暗号化します。
入力したパスワードは、パスワードファイルとして保存します。

③暗号化されたファイルをメールで送信します。
(パスワードを伝える方法)
・別メールでパスワードファイルを送信します。
・パスワードを書いた文書をFAX送信します。
・電話でパスワードを伝えます。
※電話が一番安全です。

④顧客会社はメールで暗号化されたファイルを受け取ります。
パスワードは暗号化ファイルと別の手段で受け取ります。

※複合化ソフトは、サイトからダウンロードするか、あらかじめ送信しておきます。

⑤暗号化されたファイルを受け取ったパスワードを利用して、元のファイルに戻します。

2回目以降は、同じパスワードを使うことにより、パスワードを伝える手間が無くなります。

この顧客会社には、1つのパスワードを使い続けます。

パスワードを変更した場合は、変更したパスワードも一緒に送信します。

(注意) 新しいパスワードでは、古いパスワードで暗号化したファイルは複合化できません。